

第5回アジア・スマートシティ会議における「横浜宣言」

私たちは、過去5年にわたり、都市間相互の協力と連携をさらに深め、関係国際機関とともにアジアの持続可能な成長を目指して「アジア・スマートシティ会議」を開催してきました。

私たちは、第3回までの会議の成果及び第1回並びに第4回「アジア・スマートシティ会議宣言」の精神に基づき、以下のことに合意しました。

1. 第5回アジア・スマートシティ会議において、40を超える都市、国際機関、専門機関が一堂に会し、住みやすく持続可能性があり、災害に強く復元力のある都市やコミュニティを実現するため、各々の課題や知見を集約するとともに実践的な議論を行いました。

具体的には、それぞれの専門的、技術的見地から、以下の4つのテーマによる意見交換を行いました。

- 1) 持続的な開発に向けた都市間協力
- 2) 民間セクターの質の高い技術を呼び込み、スマートテクノロジーを通じた都市課題解決を共に創造していくためのリーダーの役割
- 3) スマートシティを実現するための幅広い資金の動員
- 4) スマートシティ開発に向けた知見共有、人材育成のための効果的な手法

2. 会議参加者は、「国連持続可能な開発目標 (SDGs)」、「第3回国連人間居住会議 (HABITAT III)」で採択された「ニュー・アーバン・アジェンダ」、「国連気候変動枠組条約第21回締約国会議 (COP21)」で採択された「パリ協定」などの、地方政府や自治体の果たす重要な役割を認めた昨今の様々な国際的な枠組みについて考察しました。そして都市が、持続可能なスマートシティマネジメントを通じた都市の変革を確実なものとし、更なる発展をしっかりと遂げていくために、それぞれの都市のリーダーが、市民や企業と協力し、強い指導力を発揮することが重要であると再確認しました。

3. 第4回アジア・スマートシティ会議において、会議に参加した都市や支援機関は「アジア・スマートシティ・アライアンス」を形成することを宣言しました。参加者は、このアライアンスがアジアにおけるスマートで持続的な開発のため、それぞれのメンバーが互いに結びつき、積極的な役割を果たすことができるものと期待しています。さらに、アライアンス間の知見の共有を強化していくことについても合意されました。

4. 私たちは、この宣言を本日、モロッコのマラケシュで開催されている、「国連気候変動枠組条約第22回締約国会議 (COP22)」において報告します。